

第70回 経営協議会議事要録

日 時：平成30年9月13日（木） 13：30～15：40

場 所：本部管理棟5階会議室

出席者：櫻井学長、辻田理事（総務・評価・地域・広報担当）、奥田理事（教育・国際担当）、
本家理事（研究・医療担当）、竹田理事（財務・労務・施設整備担当）、
執印医学部附属病院長、青木委員、岩瀬委員、近森委員、中島委員、山崎委員

欠席者：宮井理事（ワークライフバランス担当）、門田委員、河合委員、中澤委員

陪席者：関監事、大崎監事、総務部長、財務部長、研究国際部長、学務部長

〔配付資料〕

- 資料 1-1 次世代地域創造センターの設置計画書（案）
1-2 高知大学次世代地域創造センター規則（案）
1-3 高知大学次世代地域創造センター利用規則（案）
1-4 高知大学次世代地域創造センター運営戦略室規則（案）
1-5 国立大学法人高知大学組織規則の一部を改正する規則新旧対照表（案）
1-6 国立大学法人高知大学国際・地域連携推進機構規則の一部を改正する規則
新旧対照表（案）
1-7 国立大学法人高知大学国際・地域連携推進機構会議規則の一部を改正する規則
新旧対照表（案）
- 資料 2-1 平成29年度国際交流活動について
2-2 国際交流協定校一覧表（平成30年4月1日現在）
- 資料 3 2019年度概算要求について
- 資料 4 平成29事業年度財務諸表の承認について（通知）
- 資料 5 平成30年度資金運用状況（H30年7月）

議事に先立ち、青木委員より挨拶が行われた後、第69回経営協議会の議事要録（案）の確認が行われ、異議なく承認された。

〔議題〕

1. 次世代地域創造センターの設置について

辻田理事から、資料1-1～1-7に基づき、次世代地域創造センターの設置について説明が行われた後、学長から補足説明が行われ、審議の結果、承認された。

委員より、企業が注目していない中山間地域に目を向けることについて、高知県から資金面での協力はいいのかとの質問があり、学長から、本学単独でのセンターであり、本学と地元自治体が協力して地方創生関係の資金獲得を考えているとの説明が行われた。

委員より、意欲的な事業を行うにあたり、大学の限られたリソースの中で難しい面もあるかと思うが、ぜひ達成してもらいたいとの意見があった。

委員より、高知県は少子高齢化による人材不足が進んでいることもあり、当センターで育成した人材の県外流出を少なくするよう取り組んでもらいたいとの意見があり、学長から、当センターで育成した人材全員が県内に残るのではなく、毎年何割かの育成した人材が県内に残るよう継続し積み上げていくことが重要であるとの説明が行われた。

2. 平成 29 年度国際交流活動について

奥田理事から、資料 2-1、2-2 に基づき、平成 29 年度国際交流活動について報告が行われた。

委員より、大学全体の中での国際交流活動の位置付けについて質問があり、学長から、「地域から世界へ、世界から地域へ」をキャッチコピーにし、地域の成果を世界に活かす方針であり、学生中心の国際化を考えている旨の説明が行われた。

3. 2019 年度概算要求について

竹田理事から、資料 3 に基づき、2019 年度文部科学省概算要求の概要及び本学の概算要求事項の状況について報告が行われた。

4. 平成 29 事業年度財務諸表の承認について

竹田理事から、資料 4 に基づき、平成 29 事業年度財務諸表について平成 30 年 8 月 31 日付けで文部科学大臣から承認された旨の報告が行われた。

5. 平成 30 年度資金運用状況について

財務部長から、資料 5 に基づき、平成 30 年度資金運用状況について報告が行われた。

6. 大学運営に関する意見交換

学長から、机上配付資料に基づき、意見交換のテーマとなる大学改革について本学の方向性等の説明が行われた後、意見交換が行われた。

なお、各委員より、主に以下の意見があった。

- ・実益のある改革はぜひ実行してもらいたいし、限られた人的リソースを活かすためにも、教員だけでなく、職員も視野に入れた改革を検討してみてもどうか。
- ・学生視点からの高知大学が見えてこない。また、今後データ社会となり、AI 人材の育成が重要となるにあたり、大学がどのようにリベラルアーツを考えていくかが重要である。
- ・国際交流活動について、数字だけだと少なく、大学間交流協定においても内容を検証していかないと、実のあるものになっていかない。
- ・経営及び運営面でみると、高知大学も国立大学のビジネスモデルではなく、地域にあったビジネスモデルに今後変わっていく必要がある。

7. その他

- ・学長から、経営協議会の次回開催予定について説明が行われた。

以 上